

京都市立日吉ヶ丘高等学校 沿革史

明治 11 年 8 月 15 日 田能村小虎南宗画家等が植村正直京都府知事に画学校設立を建議。

明治 13 年 7 月 1 日 京都御苑内に京都府画学校開校(日本初の画学校)。

明治 22 年 12 月 1 日 京都市に移管し、京都市画学校と改称。

明治 24 年 4 月 1 日 京都市美術学校と改称。

明治 27 年 8 月 1 日 京都市美術工芸学校と改称。

大正 15 年 6 月 10 日 下京区今熊野日吉町の新築校舎に移転。

昭和 6 年 7 月 1 日 創立50年記念式典挙行。

昭和 23 年 4 月 1 日 京都市立美術高等学校と改称。

昭和 24 年 4 月 1 日 京都市立日吉ヶ丘高等学校と改称。学制改革により、地域制・総合制(普通科・商業科・美術科)男女共学の高等学校として発足。校名は東山区今熊野日吉町50番地の地名に基づいて命名。校章制定。

生徒数671名 1年472名 2年176名 3年23名

昭和 24 年 11 月 1 日 開校式挙式。爾後11月1日を創立記念日とする。

昭和 25 年 1 月 8 日 校歌制定 作詞 森里忠男 作曲 田辺一郎。

昭和 25 年 5 月 13 日 新築校舎の建設予定地を泉涌寺山内町。泉山陵付属地に選定。校地31,957.2㎡。

昭和 25 年 12 月 7 日 建設予定地、皇室経済会議に上程したのち衆議院で可決。翌8日参議院で可決。

昭和 25 年 12 月 13 日 建築設計を明治大学教授堀口捨巳工学博士に依頼。

昭和 27 年 4 月 1 日 泉涌寺山内町の新築校舎に移転。

昭和 28 年 7 月 30 日 本館(鉄筋4階建て)校舎竣工式挙式。

昭和 29 年 4 月 1 日 商業科の募集停止。

昭和 33 年 3 月 1 日 校旗制定(ダークグリーン地に金糸で校章を刺繍)。





昭和 34 年 12 月 4 日 体育館竣工。床面積651,04㎡。

昭和 41 年 3 月 19 日 グラウンド拡張工事完成。

昭和 49 年 8 月 31 日 2号館改築・竣工。

昭和 50 年 6 月 1 日 プール完成。

昭和 53 年 6 月 6 日 茶室「雲岫庵」復原。

昭和 55 年 4 月 1 日 美術工芸科独立。京都市立銅駝美術工芸高等学校となる。

昭和 56 年 10 月 31 日 2階建格技場完成。4号館を特別室棟に改修。LL教室新設。

昭和 60 年 4 月 1 日 京都市内を4通学圏とし、類・類型制の教育制度を実施。

本校は、桃山・鳥羽・洛水・塔南とともに南通学圏となる。

昭和 60 年 5 月 31 日 コンピュータ教室新設。

昭和 62 年 5 月 31 日 トレーニングルーム完成。冷房設置8室。

昭和 63 年 10 月 1 日 進路指導部にコンピュータ・システム導入 (FINE・HEART システム)。

平成 元 年 4 月 1 日 体育館外壁塗装完成。平成2年4月1日館内配線改修。

平成 元 年 5 月 31 日 図書館冷暖房新設。夏休み学習室として活用。

平成 2 年 3 月 1 日 儀式用演壇、ステージの整備。視聴覚VTR関係機器の整備。

平成 2 年 4 月 25 日 自転車置き場拡張工事完成。

平成 4 年 8 月 3号館普通教室改修整備工事完成。

平成 5 年 6 月 10 日 普通教室、職員室クーラー施設7基整備完了。

平成 6 年 5 月 24 日 英語科設置許可。(40名)

平成 7 年 4 月 10 日 英語科第1期生入学。

平成 8 年 3 月 31 日 1号館および第2体育館改修。普通教室にモニターTV設置。

平成 10 年 3 月 31 日 新プール完成。





平成 10 年 7 月 1 日 2号館全教室にクーラー設置。

平成 11 年 10 月 31 日 創立50年記念式典挙行。

平成 13 年 3 月 31 日 コンピュータ教室移転・改装工事完成。

平成 15 年 3 月 31 日 メディアルーム改修工事完成。

平成 15 年 5 月 普通教室、クーラー設置。

平成 17 年 3 月 31 日 校内LAN情報コンセント設置工事完成。

平成 20 年 3 月 31 日 LL教室機器更新。

平成 21 年 4 月 1 日 国際コミュニケーション科第1期生入学(英語科募集停止)。

平成 26 年 4 月 1 日 進学型単位制普通科第1期生入学(国際コミュニケーション科募集停止)。

リニューアル完成イメージ(平成28年度完成予定)



英語村完成イメージ(平成27年度末完成予定)

